

上部消化管内視鏡（経口）検査の説明書／同意書

・ どのような検査か

上部消化管内視鏡検査とは、口から内視鏡（胃カメラ）を挿入し、食道、胃、十二指腸を観察する検査です。潰瘍、炎症、腫瘍（ポリープや癌やその他）などを診断するために行います。

・ 検査の準備

検査の時に胃の中に食物が残っていないように、検査前日の夕食は消化の良いものを摂取していただき、検査当日は朝から禁食です。当日の朝は、心臓疾患や血圧に関連する薬や水は飲めず。

心臓や脳の疾患などで血を固まりにくくする薬（抗凝固薬）を内服されている場合、観察（写真撮影）のみの検査ならば抗凝固薬を休薬しないで実施が可能です。しかし検査中に組織を採取する（生検）必要が生じた場合、薬の種類によってはあらかじめ休薬しておかないと生検は出血が危険なため行えません。しかし安易に抗凝固薬を中止することにより血栓症などが生じてしまうと、重篤な病状や後遺症などに繋がることもあるため、内服中止に関しては検査予約時に主治医と良く相談し、その指示に従っていただく必要があります。

・ 検査の手順

検査直前に消泡剤（胃の中の泡をきれいにする薬）のシロップを飲んでいただきます。次に検査台に仰向けに横になり、喉にリドカインスプレーで局所麻酔を行います。検査は左肩を下にした横向きの姿勢となり、マウスピースを軽く歯でくわえていただき、内視鏡の挿入が開始となります。検査中は観察のために空気を入れて胃を膨らませるため、お腹の張りを感じたり、検査中や検査後に空気が口やお尻から排出されると思います。検査時間はおおむね 10 分程度です。

何か病変が見つかった場合には、病理組織検査のために病変の一部を採取する場合があります（生検）。

その場合当日中は飲酒や刺激の強い香辛料を使った食事は避けて下さい（別途、検査後に指示があります）。

・ 鎮静剤について

検査時の苦痛を減らす目的で鎮静剤（精神的な緊張を抑えしばしば眠気を起こさせる薬）の注射を希望者に使用することがあります。必ずしも必要なものではありませんが、希望される方は別紙「鎮静剤使用の説明書/同意書」（様式 3）をよくお読みになり了承の上、同意書に署名をお願いいたします。

・ 検査の合併症・偶発症

比較的良く起こり、軽いものとしては、のどの痛みや声がかれたり、お腹の張りや痛みがありえますが、通常は当日中に軽減します。重いものとしては、ごく稀ですが、出血や穿孔（消化管に穴が空くこと）が生じる可能性があります。帰宅後でも、下血（黒色便）や吐血などが見られた場合は、すぐに病院にご連絡ください。また咽頭麻酔や投与する注射薬によるアレルギーやショック（血圧低下や意識混濁）などの可能性もありますので、そのような症状が生じた場合は、投薬や点滴などで迅速かつ適切に対応いたします。もし合併症・偶発症が生じた場合でも最善の対応を行います。入院や緊急内視鏡治療・輸血・外科的手術などが必要になることがあり、その際の治療費は、保険診療内でご負担いただく必要があります。参考までに日本消化器内視鏡学会が実施した全国集計によると、経口上部消化管内視鏡による合併症・偶発症の頻度は 0.005% でした。

・ 代替となる検査法とメリット（利点）、デメリット（欠点）

バリウムを飲んで行う上部消化管造影検査では、平坦な病変や色調の変化が主な病変は診断しにくく、また病変が認められても生検が行えないため、確定診断に至らない可能性が高いです。すでに発見された病変（胃がんなど）の範囲を客観的に判断し、手術の切除範囲の参考にするなどの場合には有用ですが、放射線被曝することも考慮すると、内視鏡検査の方が優れていると言えます。他の CT 検査や腹部超音波検査（エコー）などでは、食道や胃は断面で描出されますが、これでは消化管内の病変に対して内視鏡検査と同等な精密な診断は期待できません。

・内視鏡検査を実施されなかった場合について

上述しましたように、食道、胃、十二指腸の内腔にある病変は、他の検査では診断しにくいいため、病気の精確な診断やその後の治療が遅れることが懸念されます。特に病状の進行が速い病気の場合などには、結果的に本来行うべき適切な治療を選択できなくなる可能性が高くなります。

以上の内容につきご理解いただき、検査の実施にご納得いただけましたら、同意書に署名をお願いいたします。同意書をいただいた後でも、同意を撤回することはできます。その場合は、再度主治医とよくご相談ください。

年 月 日

紹介元医療機関 医師・看護師・その他、説明者 _____ 印

私は検査の意義、準備、合併症について説明を受け、理解しましたので、検査の実施を希望します。また合併症などによる緊急時に必要な処置が適宜実施されることについても同意します。

年 月 日

患者氏名 _____ 印

氏名 _____ 印
親族または代理人（続柄： _____ ）